

有限会社トムミルクファーム

販路拡大・作業工程改善を経て新商品を開発

自社商品とともに地域全体の魅力も発信



■事業所データ

事業所名：有限会社トムミルクファーム

経営者名：沖正文さん

住所：〒739-2311 広島県東広島市豊栄町乃美 1083 番地 5

電話：082-420-3323

営業時間：11：00～17：30（冬季は 17：00）

定休日：火・水曜日

URL：<http://tommilk.co.jp/>

事業内容：酪農、園芸、作業請負、乳製品製造販売、飲食店営業、乳処理業

■広島県央商工会からの経営支援内容

小規模事業者持続化補助金（平成 30 年 7 月豪雨対策型を含む）の申請補助および経営革新計画の策定支援、専門家派遣など。

■豪雨災害による物流遮断の影響

トムミルクファームは 1950 年に創業した牧場です。牛や人があまりストレスを感じない持続可能な酪農を目指して、牛が自由に動き回れるフリーバーン方式の牛舎を採用しています。

消費者に牛をより身近に感じてもらえるよう、1996年には園内にジェラートショップを開業。食事メニューや酪農体験も提供し、多くの観光客が訪れる場所となりました。乳製品を中心とした加工食品も製造販売しています。

2018年7月、西日本豪雨災害によってこの地区の物流が数日間ストップ。道路が寸断された影響もあり、その後も数か月は牧場に観光客が訪れませんでした。売り上げも落ち込んだことから、商工会の提案を受け補助金を活用した経営革新に取り組むことを決めました。



※新しいロゴが入った冷蔵車

■販路拡大から生産量拡大、新商品開発に

まず導入を決めたのが冷蔵車です。自社の配送ルートは東広島市内まででしたが、これにより広島市内まで配達が可能になり販路が拡大しました。

それによる新規販売先のニーズに応えられるよう、乳処置施設も改修。1台で複数の容器に乳製品を充填できる処理プラントが完成し、作業効率が3~4倍程度にアップしました。

余裕ができた作業時間を活用するため、新商品（コーヒー牛乳、飲むヨーグルト）を開発。パッケージデザイン制作にあたり、ロゴや既存製品のデザインも一新しました。それを生かしたチラシ制作にも取り組んでいます。

■独自配送ルートを足掛かりに販路を開拓

冷蔵車の導入によって、運送会社を使って出荷していた広島市内の販売先に直接搬送が可能となり、その店舗での売り上げが約3倍に拡大しました。

乳処理施設改修後に経営者（沖正文）が足を骨折したり、リニューアルしたパッケージを製造する工場（長野県）も豪雨災害で被災したため、新パッケージの入荷が遅れたりといったトラブルもありましたが、配達先周辺での販路開拓も順調に進んでいます。セントルマルシェブランド商品（主に県央エリアの事業者が作る商品ブランド）が広島三越に出店していた期間も、物流を一手に担いました。

申請では商工会を通して広島県中小企業団体中央会を訪れてアドバイスを受け、書類をブラッシュアップしました。



※リニューアルしたパッケージと新開発商品

■自社商品にとどまらず地域全体の魅力を発信

沖正文さん「県央エリアには空き家が増えており、手をこまねいては地域を守れません。自社の経営でも商品とともに地域の魅力を発信するなど、常に地域全体の活性化を念頭に置いています。体験を通して地域のファンを増やせるよう、アグリツーリズム（農村宿泊体験）用研修施設『十夢学舎』も建設しました。

私は商工会副会長でもあるのですが、申請にあたり商工会のフォローに助けられました。まずあなたの夢をしっかりと商工会に伝えてください。実現に向けて活用できる支援制度があるかもしれません」。